

豆ねっど

第 92 号

2017 年 1 月 24 日発行



伊豆沼の白鳥

も く じ

伊豆沼の白鳥	表紙	オーガニック・エコ報告	6.7
理事会報告・総会案内	2	赤とんぼ食堂報告	8
みやぎの人と環境にやさしい		田んぼの生き物調査報告	9
農業推進セミナー報告	3	米穀情勢	10.11
書評：「豆農家の大革命」	4.5	事務局からお知らせ	12

発行 特定非営利活動法人 環境保全米ネットワーク



理事会報告



環境保全米ネットワーク第3回理事会が、2016年12月12日（月）15時～17時に仙台市市民活動サポートセンターの4階、研修室で開催された。出席者は、理事10名中、6人が本人出席、3人が委任状提出で、理事会は成立した。また理事会には監事2名が同席した。

理事会では、総務財政報告に続き、環境保全米センターの情報・交流委員会報告と認証センターのMS認証委員会と認定委員会の報告が行われた。環境保全米センターの情報・交流委員会の活動報告では、情報交流委員会として取り組んでいる活動や会員獲得につながる活動についての質問があった。情報交流委員会の独自の活動では、『赤とんぼ食堂』の取り組み、他団体との連携活動では「いい朝みやぎ」の「朝清掃」やMELONと朝市・タ市ネットワークと連携している「オーガニックウィーク」の取り組みを説明した。これに対して今後、消費者や生産者の会員獲得を目指すことが重要だと指摘された。

認証センターのMS認証委員会と認定委員会の活動報告では、オリンピックの食材調達の動きについて質問があった。事務局からオリンピックの食材調達は、過去2回のオリンピックでは有機食品が選択されているが、12/5付農業新聞で東京オリンピックの基準が発表され農水省のガイドラインで定めるGAP以上が中心になりそうだ。だが実際はオリンピック組織委員会と契約するケータリング会社の判断次第になりそうだ。GAPが基準になるということで考えたのだが、当会のCタイプはGAPの一部を検査項目に入れているので、各JAがGAPに取り組んでいることにもなる。ということは我々のCタイプ認証を受けたものもGAPに入る可能性があるといえる、と報告があった。

その他、環境保全米の認証状況やJAS有機の認証状況について、意見交換がなされた。

審議事項では、総会準備については、議長・司会等役割分担が決められた。事業報告と方針の提案については、各委員長が作成した素案を確認した。一旦各委員会で検討したうえで三役会議、理事会に提出することを確認した。役員改選については、次回理事会で最終的に成案をみることにした。

2017年度通常総会のご案内

環境保全米ネットワークの2017年度通常総会を開催いたしますので、ご出席をお願いいたします。

総会議案書、出欠案内は後日改めてお送りいたします。

日時：2017年2月17日（金）午後1時00分～午後4時00分（開場12時45分）

会場：仙台市市民活動サポートセンター 6階『セミナーホール』

仙台市青葉区一番町四丁目1-3 電話（022）212-3010

広瀬通沿（旧日専連BEEBビル）入口右手のエレベーターで6階へ

（飲食物持ち込み可。サポートセンター内には自動販売機がありません。）